

# 各位

近畿農業協同組合研究会  
代表者 増田佳昭

## 令和2年度第2回近畿農協研究例会(通算第267回研究会)の開催について

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

近畿農業協同組合研究会は、JAの理論的・実践的諸問題を研究討議し、JA運動の発展に寄与することを目的に、昭和34年に設立された歴史ある団体です。

最大の特徴は、JA役職員、行政の農協指導担当者、農協論の研究者が一体となって研究会を運営・開催し、自由な立場で論議を重ねているところです。

この度、標記研究会を下記のとおり開催いたします。つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、貴団体の関係者の出席につきご配慮を賜わりたくよろしくお願い申し上げます。

なお、貴団体の支所(店)関係者にもご連絡のうえ、多数ご出席いただければ幸甚です。

敬具

### ☆ テーマ 暮らし・地域活性化に果たすべきJAの使命と役割を再考する

新型コロナウイルスの感染は、外出自粛に伴う巣ごもり需要の高まりやテレワーク・web会議などによる働き方改革の推進など、経済社会とわれわれの生活様式を一変しました。現在は、自粛解除の方向に舵を切っているものの、自主的な判断で人との対面交流を控えるなど、新型コロナの感染が始まってから今日までの様子を見る限り、様々な方面で自主規制は続き、地域経済をめぐる情勢は、依然、厳しい状況に置かれているのは間違いありません。

そこで、地域に根ざした活動を積極的に取り組んでいるJAが、以上のような状況のもと、新型コロナ禍で明らかとなった組合員・地域住民の暮らしをはじめ地域の課題に対し、どのような役割を果たすことができるのかについて研究・討議します。



1 とき 令和3年2月15日(月) 13:00 ~ 16:40

2 ところ ~~京都JAビル 201~203会議室~~ Zoomで開催します

京都市南区東九条西山王町1-1 TEL 075-748-0703 (農業開発研修センター)  
JR「京都駅」八条口より徒歩5分

### 3 もち方

(1)代表者挨拶 近畿農業協同組合研究会 代表者 増田佳昭  
(13:00~13:05)

(2)歓迎の挨拶 京都府農業協同組合中央会  
(13:05~13:10)

(3)座長解題 (13:10~13:20) 摂南大学 農学部 教授 北川太一氏

(4)報告Iと質疑(13:20~14:50)  
報告I JAの「くらしの活動」を核とした地域活性化の実現に果たすJAの役割  
東京農業大学 国際食料情報学部 教授 上岡美保氏  
コメンテーター 京都大学 学術情報メディアセンター 准教授 仙田徹志氏

《休憩》(14:50~15:00)

(5)報告IIと質疑(15:00~16:30)  
報告II 暮らしを守り地域活性化を図るためにわがJAが果たす役割  
—「くらしの活動」による取り組みを中心に—

京都府 京都にのくに農業協同組合 企画管理部長 深井忠進氏  
コメンテーター 兵庫県農業協同組合中央会 経営相談部長 竹中貴文氏

(6)座長まとめ(16:30~16:40) 前掲 北川太一氏

参加会費(資料代):個人会員 2,000円 団体会員 3,000円 非会員 5,000円